

(1ページから続く)

育児をしながらでもキャリアを築いていきたいが、パート薬剤師では思い描くキャリアは望めないかもしれない。将来に向けて、今からできることは何だろう。自宅で育休中にやれることは限られている。このように思考を巡らせて、ブログやプログラミングなど自宅でパソコンを使ってできることから、YouTuberとして活動することを決めた。選択肢はそれしかなかったという。

ぴよさんは「薬局で地域住民向けセミナーの講師を務めた経験があった。対象がカメラになるだけで、話すということは同じだと思った」と振り返る。

動画で何の情報を発信するのか。「大学生の時に母親が疾患を発症し寝たきり状態になった。薬剤師として様々な病気の患者さんをもたくさん見てきた。健康が一番大事だと身に染みて感じている。動画を通じて市販薬や健康に関する情報を発信し、それで健康になる人が増えればいいと思って開始した」と語る。

## 根拠のある確かな情報発信

動画は1本10分ほどだが、作成には多大な手間と時間がかかる。「1人でテレビ局をやっているようなもので、企画から台本づくり、撮影、出演、編集などやるが多すぎて大変」とぴよさん。

「まず動画で何を話すのかを調べなければならない。その中で重要なことをまとめたり、一般の人でも理解できるようにするにはどうすればいいかを考えたり、説明用スライドを作ったりする必要もある。動画全体の構成を練ったり、細かいことと言えば動画の表紙画像にどんな文字を入れるのかを考えたりする必要があって、とにかく手間がかかる」

撮影に入っても、何度も言い直したりして1時間

最初に投稿した動画はスライドを映し音声で解説するだけで、顔は出していなかった。当初は薬剤師ミナと名乗っていたが、途中からチャンネル名のぴよに改名。発信する情報の信頼度を高めるために13回目から顔を出して話すようにした。新型コロナウイルスの感染対策を解説した動画が注目を集め、登録者が急増。開始後約3カ月半で登録者数は1万人を突破した。



10分の動画撮影に1時間以上かけることもある(本人提供)

情報収集に時間をかける。薬剤師として不確かな情報を発信するわけにはいかない。自分がよく知らない領域であれば、本を買って勉強する。その上で、OTCの選び方の動画であれば「自分が消費者だったらどのようなOTCを選ぶのか」という視点で情報をまとめる。それにも時間がかかる」

新型コロナウイルスのアルコール消毒など新たな話題は書籍化されていない場合もある。そんな時には必要に応じて英語の論文を調べ、最新の情報を収集する。にこやかな笑顔で分かりやすく解説するだけでなく、根拠のある確かな情報で裏打ちされていることが、ぴよさんの動画の特徴だ。動画には調査に使用した文献のリストを明示している。

## 本の出版や商品監修を視野に

人気YouTuberは億単位の収入を稼ぐとされる。ぴよさんも動画配信による収入は発生しているものの、その金額は「おこづかい以下程度」。情報

収集のためにたくさんの本を購入するが、その経費を差し引くと赤字になる場合もある。

活動の原資を確保するため今後は、低価格帯での有料動画配信や本の出版なども視野に入れている。

企業との連携も模索したい考え。実際に企業から商品を動画でPRしてほしい

との依頼がある。しかし、「安易に引き受けてしまうと、これまでに築き上げた信用を失いかねない」として思いとどまっている。商品開発の監修には前向きに関わりたいたいという。

これまで新型コロナウイルスの感染対策に関する動画が好評で、チャンネル登録者数や再生回数の増加に貢献してきた。感染対策への社会の関心も落ち着いてきたとして今後は、健康になるための食事や運動などをテーマにした動画配信に力を入れる考えだ。

活動を開始してから約2年が経過した。「できないだろうと思って取り組み始めたが、やってみると自分の意外な側面を知ることができた。何でもやってみないと分からないと思う。取り組む前からあきらめてしまうのではなく、まずは手をつけてみるというかもしれない」とぴよさん。薬学生に向けて、何事にもチャレンジする姿勢で取り組んでほしいと呼びかけている。



時間と手間をかけて動画を編集する(同)

薬学生のための求人情報サイト

プレOPEN中!  
先行登録受付

# ファーネット 2023&2024



# 病院求人件数

ナンバーワン!

全国の病院・薬局を300件以上掲載!

<https://www.pha-net.jp/>

ファーネット

検索

今すぐ  
登録!

